

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

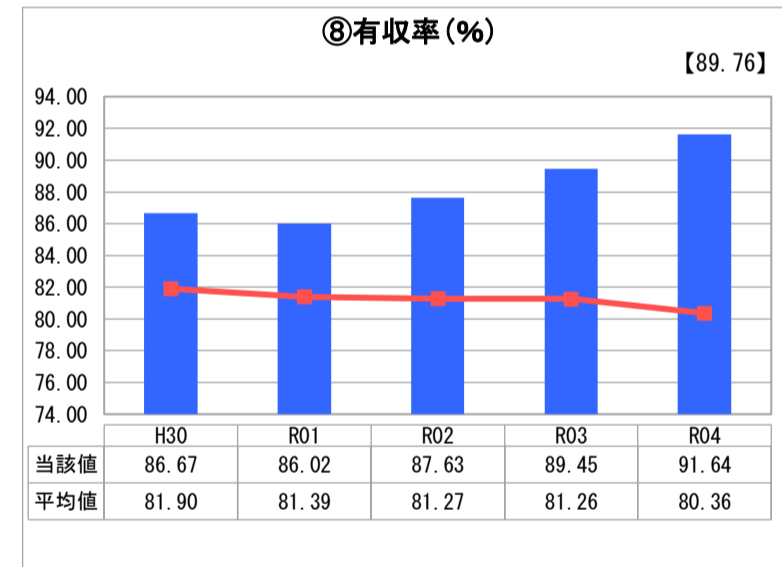
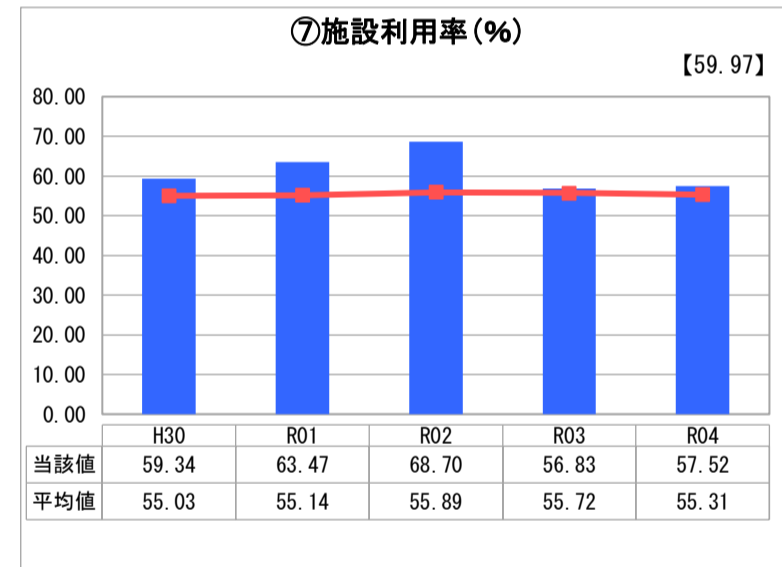
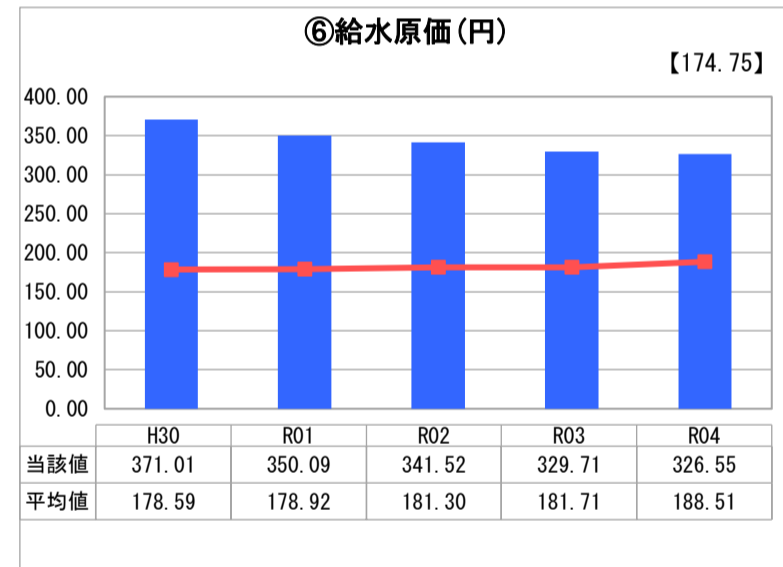
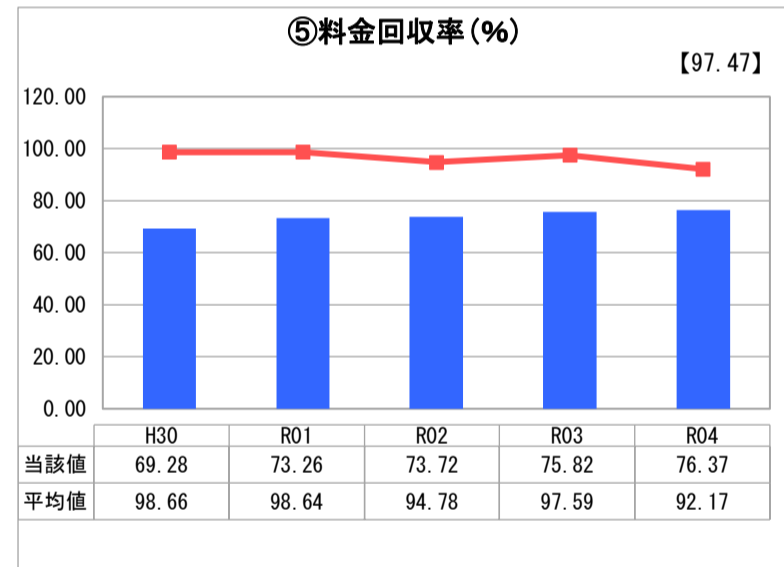
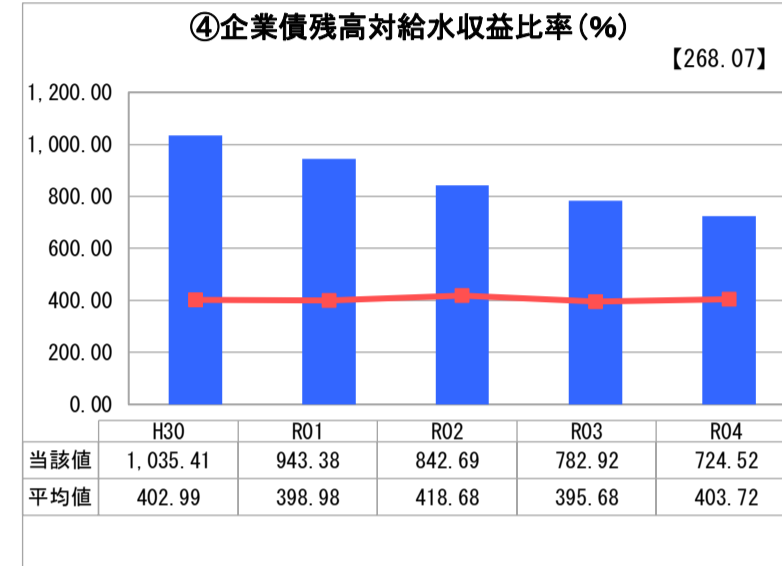
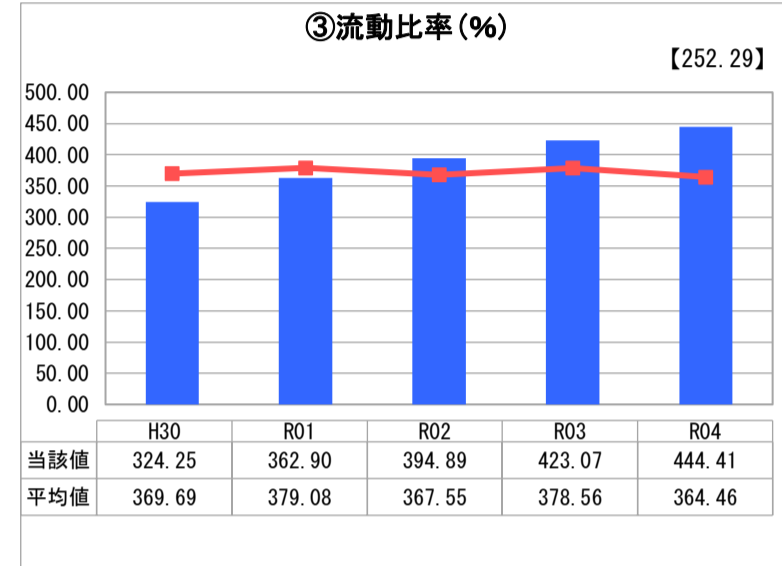
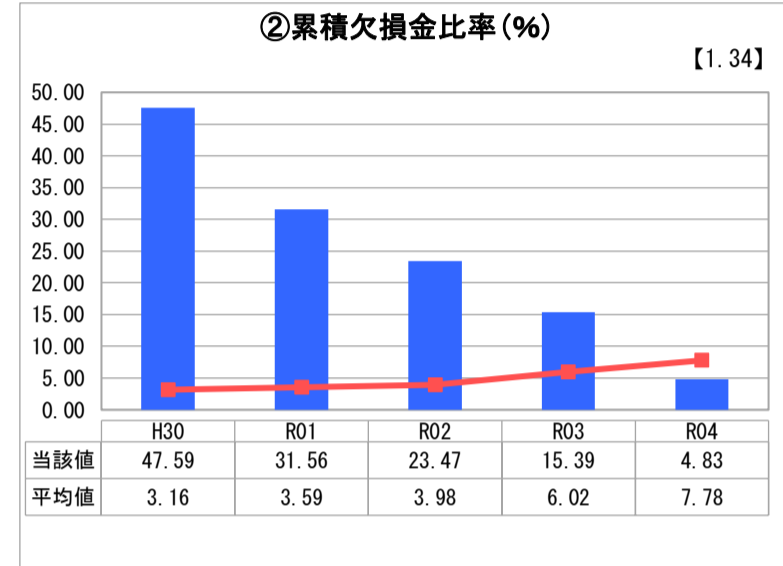
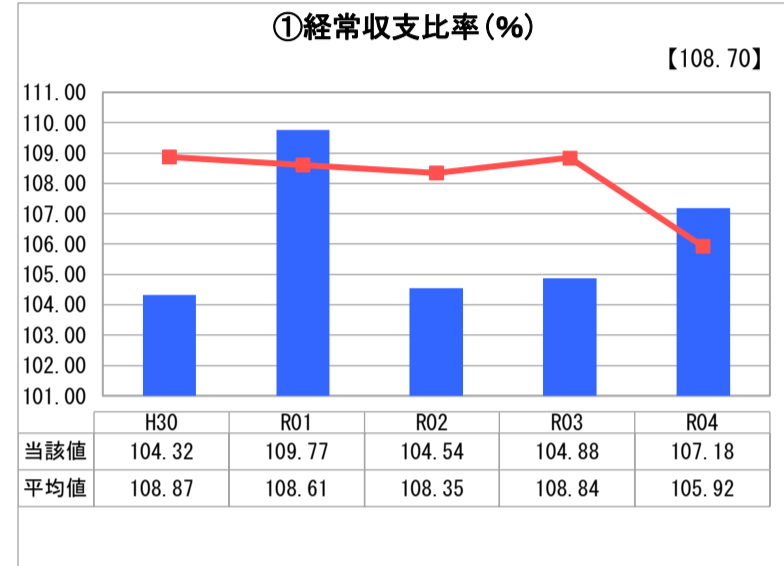
福岡県 筑前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	64.57	65.81	4,428	

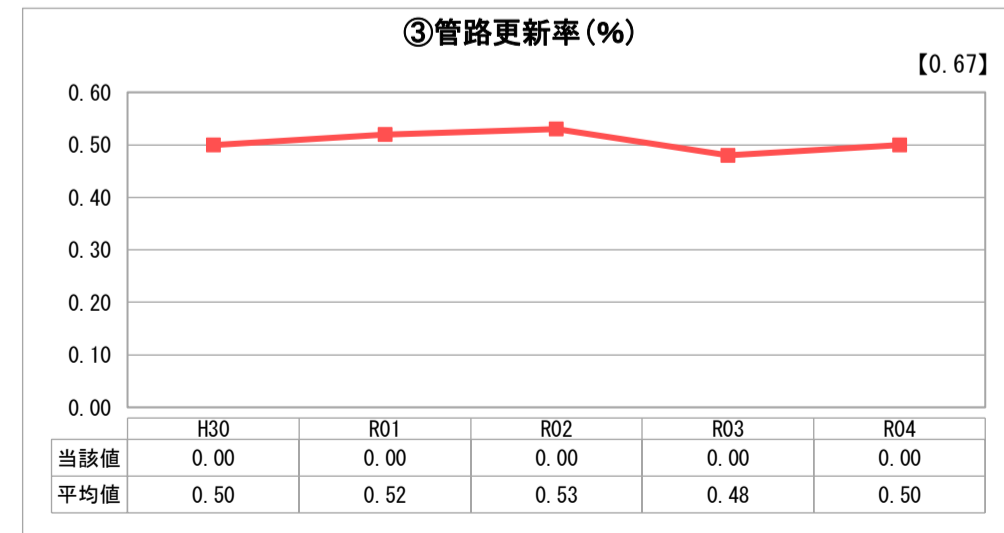
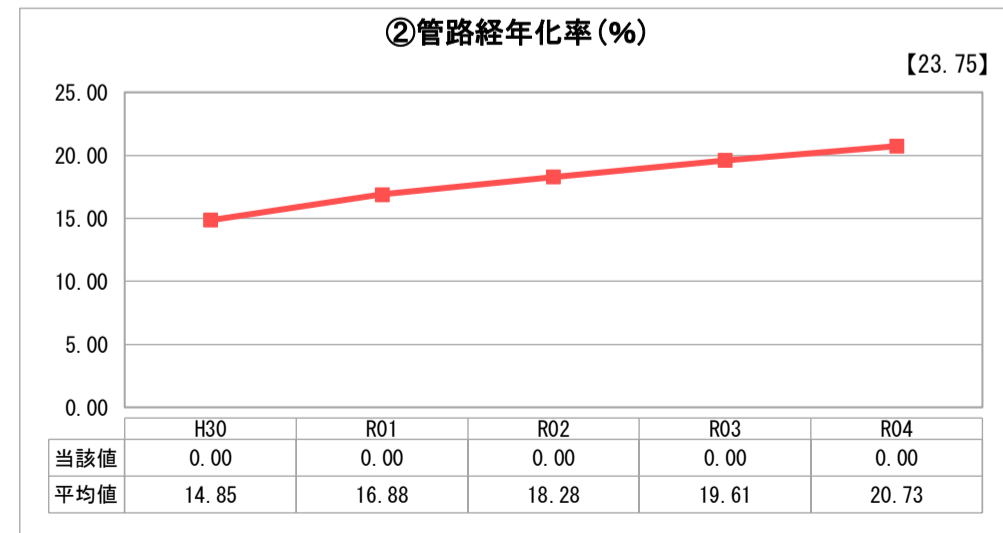
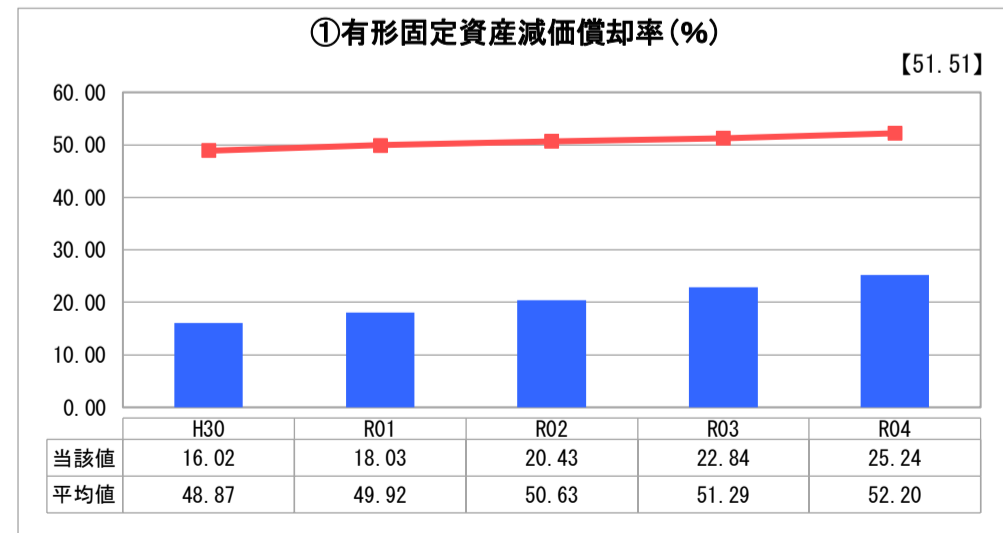
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,233	67.10	450.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,884	35.60	558.54

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本町では平成17年に事業に着手し、平成30年度に一部地域を除き創設事業を完了した。現在も宅地開発や新規加入により給水人口は徐々に増加しているが、経営に関しては一般会計からの繰入金に依存している。

経常収支比率は100%を超えているが、繰入金による部分が大きく、さらなる経営の健全化が求められる。

累積欠損金については、創設時からの未処理欠損金によるものであり、当面減少を続けると予想される。

企業債残高対給水収益比率について、令和元年度以降は起債を行っておらず、計画的に償還を行っている状況である。

料金回収率及び給水原価について、年間総有収水量が微増であるためどちらも毎年改善されているように見えるが、類似団体と比較しても低い水準にあり給水率の低さが要員であると考えられる。

施設利用率については、給水人口の自然増は一定見込めるが、さらなる普及啓発による加入件数の増が課題である。

創設事業が後進であったため、他自治体と比較すると料金が高くなっている。しかし、永続的に安心・安全な水道事業を展開するため、内部留保資金の確保が必要となる。管路更新等の時期とその費用を精査し、水道料金の改定について今後検討する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

該当なし。

## 全体総括

宅地開発の増により経営指標は年々好転しているが、依然として一般会計からの繰入による部分が大きく、給水率も他団体と比較すると低い状況にある。さらなる普及啓発と並行して、引き続き施設の適正な維持管理と経費節減に努め、健全な経営に努める。